

みどりのまちづくりアクションプラン

事業期間：2020～2024

サステイナブル・コミュニケーション・ガーデン～持続可能な花とみどりのまち～

現況：彩りが少ない公共スペース

むつ市は公共地に花が少なく、雑草が伸び放題になっている植樹マスや花が少ない公園など、“花とみどりのまちづくり”についての課題が多い状況となっています。
一方で、自宅付近の公園や植樹マスなどの公共地に、個人や団体の方が自主的に花を植えてくださっている場所もあります。そういった場所では景観改善はもちろんのこと、花壇を通じたコミュニケーションがうまれるなど、魅力あるまちが形成されています。

目的：『始めやすい』『続けやすい』みどりのまちづくり

自主的に公共スペースに花を植えてくださっている方々の持続的な取組を支援するとともに、新たな活動団体の発掘を図り、市全体の景観向上を目指します。
また、どなたでも気軽に“花とみどりのまちづくり”を始めやすく続けやすい環境を整えることで、“釜臥山からみどりが海へと続くまち”を市民と一緒に目指します。

サステイナブル・コミュニケーション・ガーデン（SCGs）とは

Sustainable Communication Gardens
身近にある公共スペース（公園・緑地・植樹マス等）に自主的に花壇「ガーデン」を設け、それを持続可能「サステイナブル」なものとすることで、地域の「コミュニケーション」を紡ぐインフラとして、将来にわたって有効活用していこうというむつ市独自の取組です。

SCGsの推進

【コミュニケーションガーデンの意義】
コミュニケーションガーデンは、地域住民が主体となって、地域のために場所の選定から造成・維持管理までのすべての過程を自主的な活動によって支えている『緑の空間』やその活動そのものことであり、活動主体となる地域住民は活動の中でガーデニングの技術や植物に関する知識などを学ぶとともに、活動を通して新たなコミュニケーションがうまれます。

【始めよう！！SCGs】

- <事前準備> ※どなたでも参加できるようにしましょう
- ①代表者を決めます（個人でも団体でも構いません）
 - ②活動希望場所を決めます
- <登録手続き>
- ①市都市計画課へご相談ください
 - ②市職員と一緒に活動希望場所にて植栽範囲や活動内容を確認します
 - ③活動の可否をご連絡します

【SCGs社会実験】

取組のモデルとなるよう、下北駅前広場にて社会実験を実施します。

SCGsパートナー

公共スペースを活用して花とみどりのまちづくりに取り組んでくださっている個人の方や団体を“SCGsパートナー”に認定し、その活動をサポートします。

花とみどりの講習会開催

SCGsに活かせる知識や技術を習得できるような講習会を開催します。

花育の推進：花植え体験

園児や小学生を対象とした花植え体験を実施し、植物を通じたコミュニケーションの活性化と花育推進を目指します。

行政による活動支援

- 【県道路施設・高規格道路管理課】
- ・県が管理する道路周辺町内会等団体への花苗の提供
- 【むつ市緑化推進委員会（市生産者支援課）】
- ・町内会・学校・PTAが行う緑化活動への助成金交付（緑の募金活用）
 - ・上記団体への花苗・培養土の提供（緑の募金活用）
- 【市都市計画課】
- ・SCGsパートナーへの花苗・資材・肥料などの提供、機器の貸し出し
 - ※提供する花苗は“宿根草”や“種が採取できる植物”など持続可能な種類を中心とします

市民の皆さまによる先進的な取組

【金谷公園への花植え<国際ソロプチミストむつ・むつライオンズクラブ・むつ市緑の少年団>】
各団体が自主的に花を植え、公園内の花壇を管理してくださっています。

【アジサイの植栽<国際ソロプチミストむつ>】
会員が増やしたアジサイを水源地公園や金谷公園内ソロプチミストの森などに継続して植樹してくださっています。

【上川町緑地<上川町町内会>】
町内会で管理していた空き地をコミュニケーションガーデンにしたことで、周辺の環境改善が図られたうえ、地域の集い・語らいの場となっています。

【ノカンソウの植栽<むつ市花のまちづくり実行委員会>】
2015年からむつ市を花でいっぱいにするための取組「むつ市花のまちづくり事業」を行っており、青森県共同募金会のテーマ別募金を活用し、小学生がプランターで育てた絶滅危惧種“ノカンソウ”を町内会・老人会・地域企業へつないだうえで釜臥山スキー場の麓へ地植えするという活動を行っています。

イメージ



花とみどりの講習会



上川町緑地：コミュニケーションガーデン



金谷道路植樹マス



ノカンソウの植栽：むつ市花のまちづくり